

# 情報科教育法 b No.7

2019/11/15 & 11/20

## [1] 情報 I コンピュータとプログラミング

- 問題解決にコンピュータや外部装置を活用する活動を通して、情報の科学的な見方・考え方を働かせて、コンピュータの仕組みとコンピュータでの内部表現、計算に関する限界などを理解し、アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身に付け、モデル化やシミュレーションなどの目的に応じてコンピュータの能力を引き出す力を養う。
- 情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用する活動を通して、
- 情報の科学的な見方・考え方を働かせて、情報通信ネットワークや情報システムの仕組みを理解するとともに、データを蓄積、管理、提供する方法、データを収集、整理、分析する方法、情報セキュリティを確保する方法を身に付けるようにし、目的に応じて情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを安全かつ効率的に活用する力やデータを問題の発見・解決に活用する力を養う

### ▼内容

- 情報通信ネットワークの仕組み
- 情報通信ネットワークの構築
- 情報システムが提供するサービス
- さまざまな形式のデータとその表現形式
- 量的データの分析
- 質的データの分析
- データの形式と可視化

## [2] 演習

- 情報 I (4) 情報通信ネットワークの活用について、テキストデータの可視化、テキストの分析とその可能性をやってみよう
  - ニュースなどを分析してみよう

## [3] 課題

1. 自宅で Wi-Fi につながっているスマートフォンが繋がらなくなった場合に、考えられる問題を挙げよ。
2. 日本において、スマートスピーカーがあまり流行しない理由について考えよ。
3. 日本において Free Wi-Fi が少ない理由について調査せよ

提出：[sho-ooi@fc.ritsumei.ac.jp](mailto:sho-ooi@fc.ritsumei.ac.jp) もしくは Google Form

メールの件名「06 情報科教育法 b\_学番-名前」

締め切り：授業の前々日まで（工学部：11/26、情報科学部：11/21）